

運動指針を活用した指導の評価を行う。

1. 運動指針の活用により、身体活動量の増加、運動の習慣化等をはじめとする効果についての評価を行う。
2. 評価を蓄積することにより、指導法の向上につなげる。
3. 国民の健康の維持・増進、生活習慣病の予防に寄与する。